

乳汁に含まれるPAGを利用した牛の妊娠確認検査

Test with Confidence™



○対象品目

水稲	畑作	露地野菜	施設園芸	果樹	茶	花き
酪農	肉用牛	養豚	養鶏	飼料作物		
沿岸漁業	養殖業	沖・遠洋漁業	その他水産業	林業		その他

○該当するニーズ

項目	繁殖
技術ニーズ	妊娠・分娩・雌雄鑑別等
具体的なニーズの内容	簡易な妊娠判定技術（乳汁、血液、唾液、尿など）

○開発等の段階

開発/実証中	
モニター販売中	
一般販売中	○
その他	

📞連絡先
 アイデックス ラボトリーズ（株）
 TEL:03-5301-6700
<http://www.idexx.co.jp/livestockpoultry-jp-@idexx.com>

概要

- PAGとは牛の乳汁に含まれる妊娠関連糖タンパクの略称
- PAG検査はPAGを測定することで牛の妊娠/空胎を確認する検査手法で海外で広く使用されている
- 弊社ではPAG検査のためのキットの販売及び検査サービスを提供中
- 本検査では人工受精後28日目から検査が可能であり、**早期に空胎の牛を発見**し対応することで、空胎期間を短くすることが可能
- 乳汁を採取し、検査実施機関に送付することにより検査が可能になるため、**酪農家様のタイミングで採材ができる**ほか、検査のために牛を保定する手間を解消
- 乳汁による検査のため、**牛にかかるストレスも軽減**

導入効果

- 人工受精後30日目前後でのPAG検査による早期確認を導入したことで、**空胎牛を従来より早く発見**できるようになった（従来：60日目前後での確認のみ）
- 妊娠鑑定と組合せてのPAG検査の利用により、妊娠確認回数を増加させることができた結果、**農場における流産の見逃し事例が減少またはゼロ**となった（従来：1頭につき1度の確認のみ）
- **自身のスケジュールで乳汁採取のタイミングが決定**できるため、繁殖管理に関わるようになり、農場経営に対するモチベーションが上昇した

直腸／エコー検査	妊娠	1,136 頭	感度* 98.7 %
PAG検査	+	1,121 頭	
直腸／エコー検査	空胎	638 頭	特異度* 94.4 %
PAG検査	-	602 頭	



● PAG検査で判定保留(±)となった割合:3.5%(全1,839頭中 65頭)

* 感度・特異度の算出には、判定保留(±)の65頭を含んでいません

情報記載日:2019年11月25日